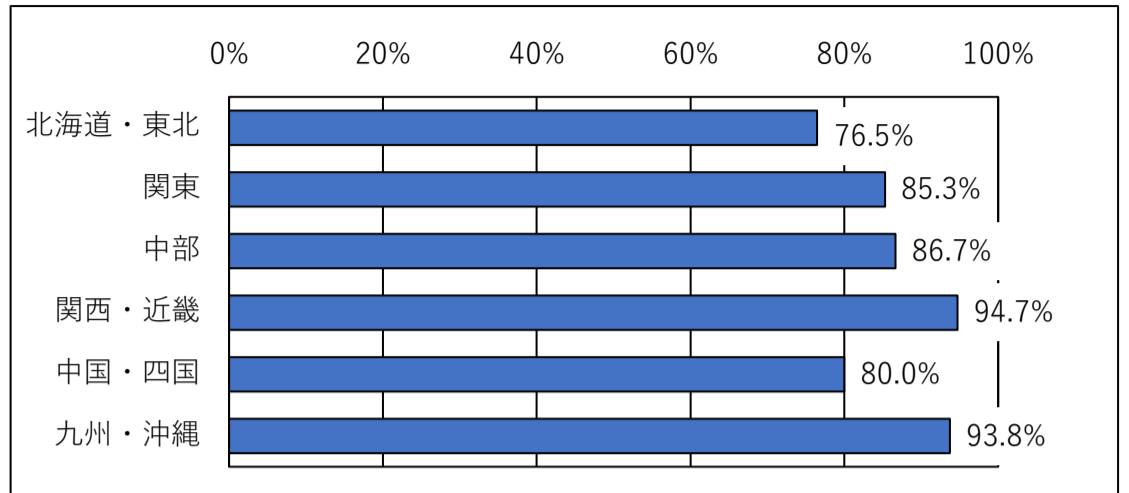


調査A <日本私立看護系大学協会>

調査票 回収結果

設置ブロック

No.	カテゴリー名	配布数	回収数	%
1	北海道・東北	17	13	76.5%
2	関東	68	58	85.3%
3	中部	30	26	86.7%
4	関西・近畿	38	36	94.7%
5	中国・四国	15	12	80.0%
6	九州・沖縄	16	15	93.8%
	全体	184	160	86.4%

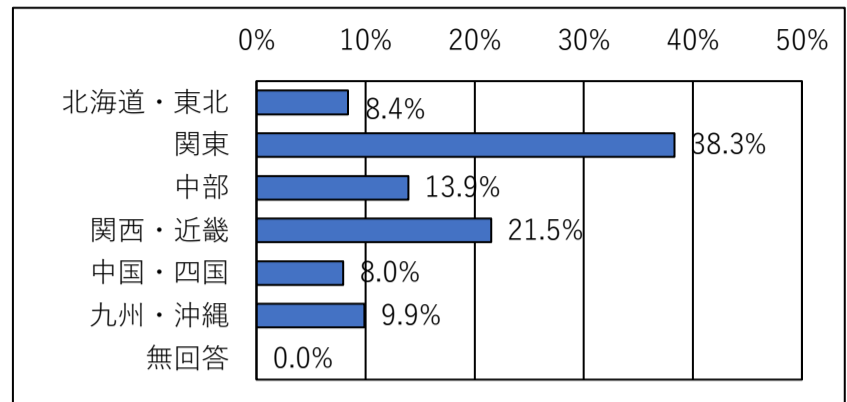


調査A <日本私立看護系大学協会>

I. 2020年9月～10月以降、開講予定あるいは開講している実習科目についてご回答ください。

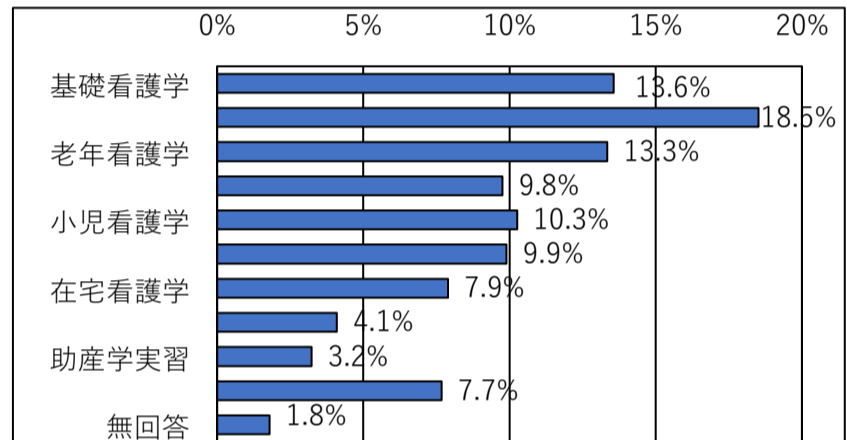
設置ブロック

No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道・東北	117	8.4%
2	関東	534	38.3%
3	中部	194	13.9%
4	関西・近畿	300	21.5%
5	中国・四国	111	8.0%
6	九州・沖縄	138	9.9%
	無回答	0	0.0%
	全体	1394	100.0%



専門領域

No.	カテゴリー名	n	%
1	基礎看護学	189	13.6%
2	成人看護学	258	18.5%
3	老年看護学	186	13.3%
4	母性看護学	136	9.8%
5	小児看護学	143	10.3%
6	精神看護学	138	9.9%
7	在宅看護学	110	7.9%
8	看護の統合と実践	57	4.1%
9	助産学実習	45	3.2%
10	公衆衛生学実習	107	7.7%
	無回答	25	1.8%
	全体	1394	100.0%

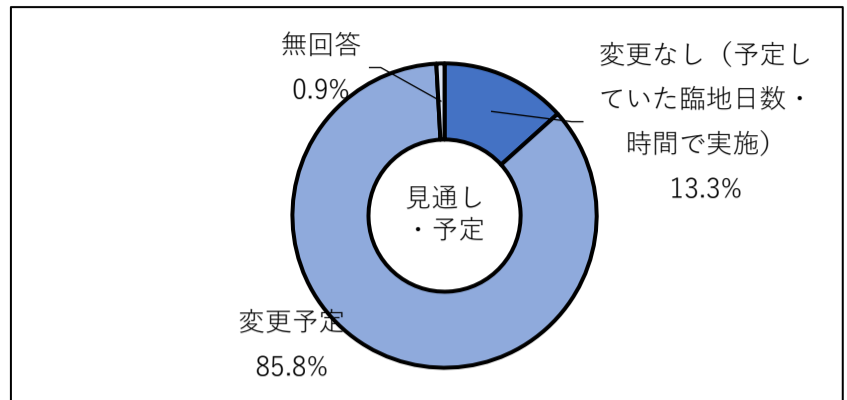


調査A <日本私立看護系大学協会>

1. 2020年9月～10月以降、開講予定あるいは開講している実習科目についてご回答ください。

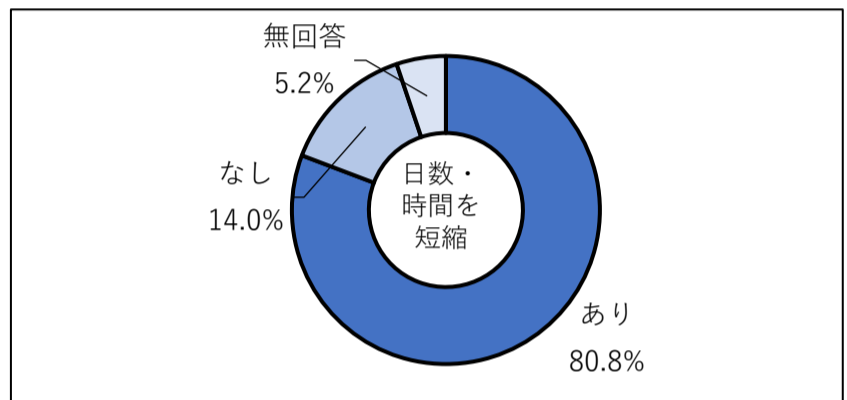
見通し・ 予定

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更なし (予定していた臨地日数・時間で実施)	186	13.3%
2	変更予定	1196	85.8%
	無回答	12	0.9%
	全体	1394	100.0%



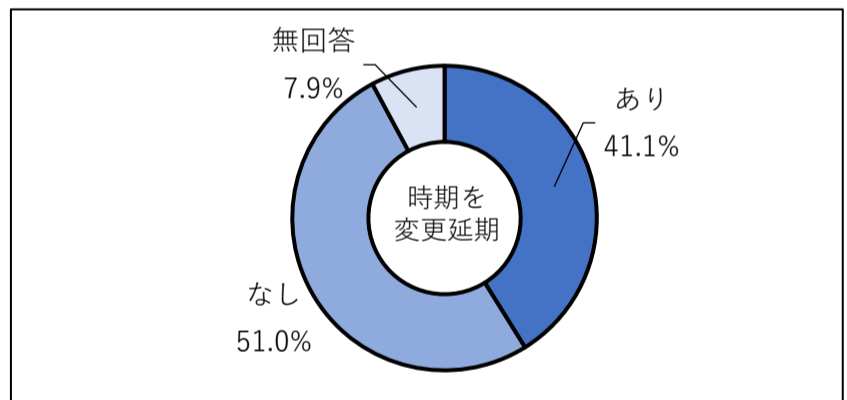
臨地の日数・時間を短縮

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	966	80.8%
2	なし	168	14.0%
	無回答	62	5.2%
	非該当	198	
	全体	1196	100.0%



臨地での実習時期を変更・延期

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	492	41.1%
2	なし	610	51.0%
	無回答	94	7.9%
	非該当	198	
	全体	1196	100.0%

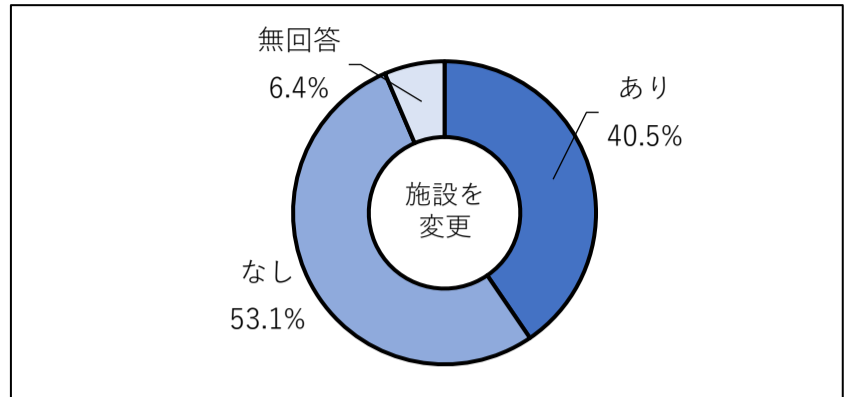


調査A <日本私立看護系大学協会>

1. 2020年9月～10月以降、開講予定あるいは開講している実習科目についてご回答ください。

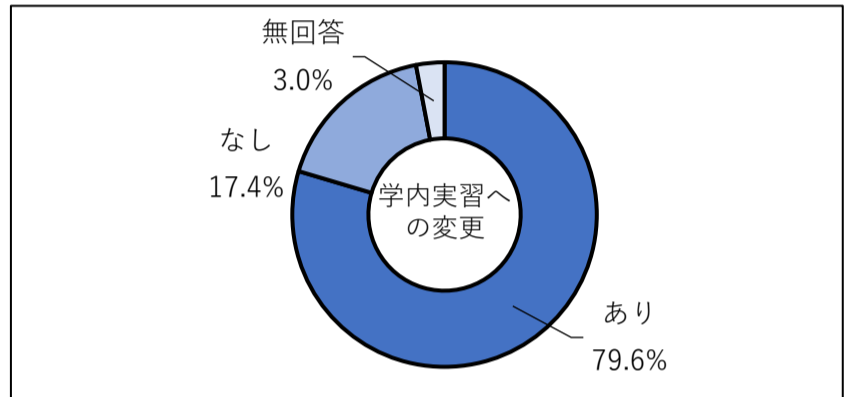
実習施設を変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	484	40.5%
2	なし	635	53.1%
	無回答	77	6.4%
	非該当	198	
	全体	1196	100.0%



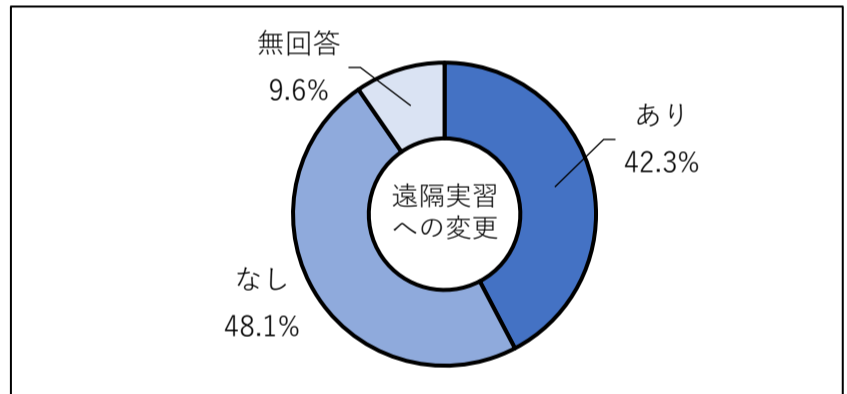
学内実習への変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	952	79.6%
2	なし	208	17.4%
	無回答	36	3.0%
	非該当	198	
	全体	1196	100.0%



遠隔実習への変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	506	42.3%
2	なし	575	48.1%
	無回答	115	9.6%
	非該当	198	
	全体	1196	100.0%

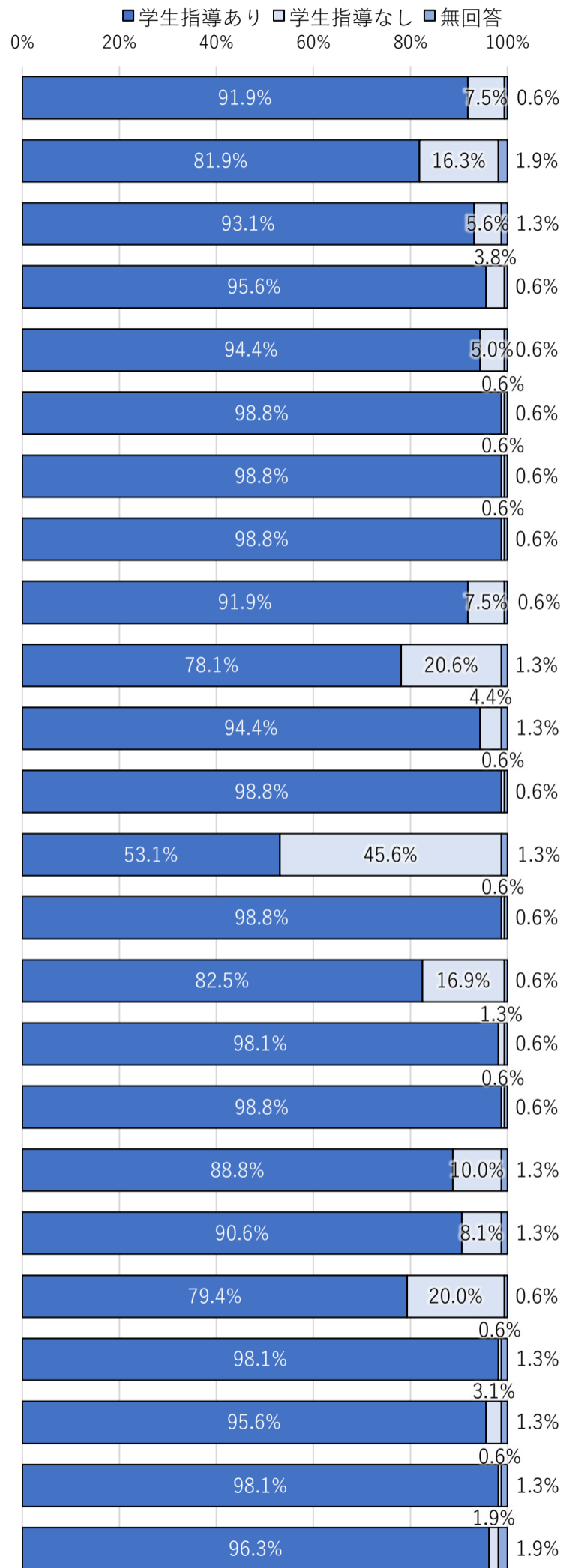


調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習向け、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

	全体	学生指導あり	学生指導なし	無回答
感染拡大地域への移動自粛もしくは禁止	160	147	12	1
	100.0%	91.9%	7.5%	0.6%
感染拡大地域への移動に伴う 学内・実習施設立ち入り禁止	160	131	26	3
	100.0%	81.9%	16.3%	1.9%
課外活動（部活動、サークル活動、ボランティア活動など）の自粛もしくは禁止	160	149	9	2
	100.0%	93.1%	5.6%	1.3%
行事・集会への参加自粛もしくは禁止	160	153	6	1
	100.0%	95.6%	3.8%	0.6%
アルバイトの自粛もしくは禁止	160	151	8	1
	100.0%	94.4%	5.0%	0.6%
集団での飲食自粛もしくは禁止	160	158	1	1
	100.0%	98.8%	0.6%	0.6%
毎日の健康チェック	160	158	1	1
	100.0%	98.8%	0.6%	0.6%
体調不良・発熱時の大学への報告	160	158	1	1
	100.0%	98.8%	0.6%	0.6%
行動記録表のチェック	160	147	12	1
	100.0%	91.9%	7.5%	0.6%
行動記録表の大学への提出	160	125	33	2
	100.0%	78.1%	20.6%	1.3%
健康管理（休息、運動、栄養）	160	151	7	2
	100.0%	94.4%	4.4%	1.3%
濃厚接触者、感染者が身近に発生した場合の大学への報告	160	158	1	1
	100.0%	98.8%	0.6%	0.6%
PCR検査等の実施と実習施設への証明書報告	160	85	73	2
	100.0%	53.1%	45.6%	1.3%
予防接種の実施（インフルエンザ、小児感染症）	160	158	1	1
	100.0%	98.8%	0.6%	0.6%
感染予防行動のための講話など	160	132	27	1
	100.0%	82.5%	16.9%	0.6%
実習に向けた感染予防オリエンテーション	160	157	2	1
	100.0%	98.1%	1.3%	0.6%
マスク着用、手洗い（手指消毒含む）の推奨	160	158	1	1
	100.0%	98.8%	0.6%	0.6%
マスク、手指消毒剤などの購入推奨	160	142	16	2
	100.0%	88.8%	10.0%	1.3%
公共交通機関利用時の注意事項	160	145	13	2
	100.0%	90.6%	8.1%	1.3%
実習着の洗濯	160	127	32	1
	100.0%	79.4%	20.0%	0.6%
教室・実習室での感染対策	160	157	1	2
	100.0%	98.1%	0.6%	1.3%
学内更衣室での感染対策	160	153	5	2
	100.0%	95.6%	3.1%	1.3%
学内昼食場所での感染対策	160	157	1	2
	100.0%	98.1%	0.6%	1.3%
学生自習室での感染対策	160	154	3	3
	100.0%	96.3%	1.9%	1.9%



調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習向け、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

設置場所	その他（自由記述）
北海道・東北	新型コロナウイルス感染省に対応する看護学実習ガイドラインを作成し、学生に感染予防を周知徹底し、感染予防対策を実行して実習に臨むことの誓約書の提出を求めた。また、実習施設にも誓約書を提出した。
北海道・東北	(在宅看護学実習) 「マスク、手指消毒剤」については、実習日程分のマスク、手指消毒、ディスポ手袋、ディスポエプロン、アルコール綿、ポーチ入りせっけんを実習生に配布し、フェイスシールドは要望のあった実習施設の学生に配布した。 (助産学実習) 直接妊産婦や新生児と関わる機会が多い実習となることから、実習施設によっては、実習開始2週間前から職種を問わずアルバイトの禁止および岩手県内に滞在していることを確認してから実習をするよう要請されているため、その旨を学生に指導している。
関東	・アルバイトについては、経済的な問題がある学生もいるため、大学として禁止はしておりませんが、感染予防対策をとるように促しております。 ・実習中に使用するマスクと手指消毒剤については、実習の学生に全員配布しております。 ・臨地実習に限定せず、学部や全学で指導している公共交通機関利用時の注意は「指導無し」としております。
関東	看護学科の学生は、実習があるので、上記のように厳しい指導をしているが、他の学科ではそれほど厳しい指導はなく、日常的に教員が学生を指導するような光景は見られない。それを見た看護学科学生の気が緩む傾向があり、指導しにくいと感じる。PCR検査は、実習実施の条件ではなく、必要があって実施した場合は学内の授業も同様であるが、結果を大学に報告しなければならない。結果が陽性の場合、本人と濃厚接触者は自宅療養となり、即時実習施設には連絡をする。
関東	・マスクの種類と推奨されるマスクの説明
関東	特に、実習に関連する上記のような指導内容については、「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う臨地実習の基本方針」として教員用、学生用の冊子を作成した。また、その冊子に基づき、学生には実習オリエンテーションにおいて文書及び口頭で指導を行った。それにより、学生と教員が共通理解することに繋がり、学生も教員も感染に対する不安が徐々に軽減しつつあるように感じる。
関東	臨地実習で使用するマスクと手指消毒液は大学が用意しています。
関東	教学課を中心に附属病院のコロナ対策委員会で決定された対策方法と学内での対策方法を合わせて、随時バージョンアップさせて対策に臨んでもらえた。
関東	マスクや手袋等、防御具の使用が制限されており、実習場所を提供されても、見学が多く、実際に看護援助できないという状況に、実習指導の困難さを感じています。
関東	全学的に適用している「新型コロナウイルス感染拡大を防止し、健やかな生活を送るためのガイドライン」を示し、学生・教職員へCOVID-19と共に生活するための生活行動指針を示している。
関東	「PCR検査等の実施と実習施設への証明書報告」については、実習施設から必要とされた場合にのみ行っている。「実習期の洗濯」については、COVID-19対策以前より、実習着単独で洗濯するよう指導している。
関東	ZOOMによるオンライン授業と学年登学曜日を決めての対面授業の併用実施している。 新型コロナ感染対策プロジェクト委員会を発足し、感染対策及び学生指導を実施している。 群馬県警戒レベルを参考にしている。（10月現在、警戒レベル2）
関東	臨地実習施設から実習中に感染する可能性があることの承諾書を要求された。そのため、保護者と学生に向けての承諾書の作成と説明を実施した。
関東	PCR検査と陰性証明書の提出については、実習施設が求めてきた場合もしくは学生のコロナ感染発生・疑いがあった場合のみ。学内で対面実習を行う場合は、入構する学生数の制限と調整を行った。実習室は教職員の目が行き届かないことから、現在閉室している。
関東	・2番目の質問の意図が不明なため回答できなかった。 ・PCR検査は実施していないため学生指導はしていない。
関東	COVID-19の感染拡大に伴い、文部科学省・厚生労働省より提示されている「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について」（令和2年6月1日）を踏まえ、学生、教員の安全確保、感染防止を第一優先に、本学学生の実習に関する方針を定めた。実習中止等判断基準と実習中止時の代替措置についても定め、保護者・学生にHPにて周知を図った。

調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習向けに、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

設置場所	その他（自由記述）
関東	看護学実習を行うにあたり、「看護学実習におけるCOVID-19感染対策マニュアル」（学生用および教員用）を作成した。内容としては、「実習前の感染対策」「病院実習中の感染対策」「実習後の感染対策」「感染症発生時の対応」で構成され、資料として実習前中後に学生がチェックするための項目、健康チェック表、手指衛生に関する指導内容を添付した。マニュアル作成にあたっては、実習病院看護部から意見をいただき、その内容も含めた。マニュアルは、実習に参加する学生、教員、実習病院看護部に配付した。実際に実習を行い、加筆修正が必要な箇所があり、現在ver.2の作成に向けて学内で検討中である。
関東	実習前PCR検査の実施を必須とし、陰性証明の提出をもって実習を受け入れて頂いている施設があり、その費用負担が大きい（教育後援会負担） アルバイトの自粛により、生活苦を訴える学生もいる。「感染防止徹底宣言ステッカー」により認定されているところであればアルバイトしてもよいかという問い合わせもあり、学生の厳しい経済状況もうかがえる。
関東	学生の行動管理は難しい。自宅学習等における、ストレスコーピングと外出先の管理において、ジレンマが生じ、メンタル面の問題などが出てくる可能性がある。
関東	<ul style="list-style-type: none"> ・行動記録表は臨地実習開始2週間前から記載を求め、濃厚接触の場合などには大学への提出を求めることを説明。行動記録表は、臨地実習のタイミング等の履修方法に応じ科目（学年）により記載項目は一部異なる ・感染防止策については、基礎看護援助方法Ⅰ（1年生）、病原微生物学（1年生）、医療の質と保証Ⅱ（3年生）にて学ぶ。 ・マスク・手指消毒剤は大学で一括購入し準備、利用する。
関東	全学生に対して毎朝の体温測定とその報告をネットにてするように2020年3月より実施し、37度以上ある場合は、すぐ受診を義務づけている。上記の諸件につき感染専門看護師資格のある准教授を中心に3月上旬に新型コロナ感染防止マニュアルを作成し、全学部および付属中学・高等学校にも配付し、生徒・学生の意識教育を実施し、看護学部内では、4月5月6月7月8月9月10月の毎月1回クラスの時間に新しく更新した感染症マニュアルを配付し、各学年に講義し、指導を実施している。

調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習に向けて、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

設置場所	その他（自由記述）
関東	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行は禁止、公共交通機関を利用する帰省以外の国内旅行（特に県外）は自粛とし、病院実習の2週間前からは全ての旅行について禁止としている。冬休みに帰省する寮生は、原則、帰寮前2週間に発熱、その他のコロナ様症状がないことが確認された場合に帰寮を認めることとしている。 ・学生はスマホアプリを使って、毎日、発熱、その他のコロナ様症状の有無を記録している。実習前2週間、実習中、帰寮前2週間は、それらの健康情報を大学に送信することとなり、未送信が多い学生は実習させない、帰寮させないこととしている。 ・部活・サークル活動等については、行ってはならないことを全学的に決めた上で、感染対策に配慮した活動計画を部活・サークル毎に提出させ、その内容をチェックして、活動を許可するか否か決定。 ・アルバイトについては、接客を伴うものは禁止、その上で希望するアルバイトの届けを提出させ、マスク、換気、消毒等の感染対策が徹底され、15分以上人と接触しない、休憩も含めて人と飲食する機会がない等のアルバイトは認めている。アルバイト届には責任者の記載等も求め、学生が感染した場合、あるいは感染者と接触した場合に、迅速に対応できるようにしている。 ・学生生活の新たな指針を定め、学生に周知。その中で、カラオケ、ゲームセンター、コンサート等の立ち入り禁止の場所を具体的に示している。寮があるため、寮での感染予防行動を具体的に示すとともに、学生及び教職員以外の立ち入り禁止、学習室や集会所の使用禁止等を示している。また、共同浴室であるため、感染対策を考慮した入浴方法について、教員の指導の下、寮生に考えさせ、それを徹底している。 ・実習施設からの要望もあり、学生生活の新たな指針に関する誓約書を学部長宛に出してもらった。 ・行動記録表については、一部の実習について、実習施設からの要望に応じて、実習前2週間の記録をさせ、教員が確認、実習中にも記録を求めている。学生のプライバシーにも配慮して、接触した人については、頭文字のアルファベット表記等としている。感染対策が徹底され、飲食を伴わないアルバイトであるが、人との接触が15分以上である場合で、経済的理由からアルバイトを希望する学生については、毎日の行動記録を求め、2週間分ずつ大学に提出することとしている。 ・学生更衣室や学生自習室については、学生への指導というよりは、更衣室用に追加の場所を確保し、学生を割り当て、3密を避ける、学生自習室は机と椅子を減らし3密を避けるなど、大学側が感染予防を考慮した環境づくりを行っている。 ・実習用のマスク（1日1枚）と手指消毒剤とそれを常に持ち歩くためのポシエットは大学が用意し、学生に配付している。追加で要するマスクは学生持ち、消毒剤の補充は大学でできるようになっている。
関東	<p>学内及び臨地実習で必要に応じて、face shieldを大学で購入し、感染防止のための使用上の指導をおこなった。また臨地実習のみならず、事前の学内での技術演習ができず、小規模大学では学習環境を急に整えることもできず、不十分ながら各教員が知恵を絞り、現在ある視聴覚教材等を活用したり、教員が患者・看護師モデルになりリアル感を出すための役者に扮したりと努力をしました。それでも、学生たちが実際にイメージ化するには難しく、学生・教員双方での苦労が見られていました。このような不測の事態が生じたときには、本協会のお力添えで大学間交流ができ、実習室の機器・備品の充実した大学を利用可能とできるようにするとか、教員間で共に現状問題の解決に向けて対策を講じることができるよう体制づくりを検討いただけると大変ありがたく思います。</p>
中部	<p>①マスク、手指消毒剤は、大学（領域ごと）が購入・準備し学生に経済的負担がないようにしている。②学内代替実習を行う際、実習である自覚を持たせるためにユニフォームに更衣させていたが、校舎内の学生更衣室が密になり（他領域の実習学生と時間帯がかぶるため）、学生たちからも不安・不満の声が出たので、年度途中（秋学期以降）の実習からは更衣室使用禁止とし、通学の私服（ただし華美にならないよう）のまま学内実習を行うことになった。</p>
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・「行動記録表の大学への提出」については、体調不良や感染発生など、何らかの事象があった場合のみとしている。 ・実習施設からの要望により追加した項目もある（感染拡大地域への移動に伴う学内・実習施設立ち入り禁止）。
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチン接種はこれまでも学部で一斉に接種している。 ・基本的事項は大学の規程に基づき、細部の運用は学部の実習委員会で方針を決定しておりそれを順守している。
中部	<p>アルバイトについては、学生の経済状況に影響を及ぼすことも考えられるため、積極的に禁止にはしていない。</p>
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査結果の提出は該当者のみ ・学内更衣室の利用を禁止している
中部	<p>全学生へフェイスシールドを配布しています。</p>

調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習に向けて、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

設置場所	その他（自由記述）
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査については、施設側からの依頼があった場合にのみ検査し、検査費用は施設が対応 ・マスクについては各自で購入するよう指導したが、臨地での実習には大学で購入したものを1日1枚配布し、使用する。実習終了後は各自で購入したものを使用 ・行動記録表・健康チェック表は常に持参し、必要時提示してもらう
関西・近畿	5月より毎日（土日、長期休暇含む）manabaにて健康状態や行動履歴の記入を指導未記入の場合、直ちに個別指導を行っている。
関西・近畿	PCR検査等の実施と実習施設への証明書報告については、指示のあった実習施設のみ実施・報告しています。
関西・近畿	<p>行動記録については、健康チェックとともに常に携帯させており、教員が確認、臨地の求めに応じて提示している。臨地施設によっては、臨地施設指定の行動チェック表を使用している。</p> <p>ワクチン接種に関しては、今回に限らず以前から指導しており大学で管理している。</p> <p>アルバイトの自粛、行事・集会への参加自粛について、保護者にも連絡し協力要請を行っている。</p>
関西・近畿	大学の感染対策ガイドラインを基本方針として、学科独自でガイドラインを作成し、感染予防対策を徹底した。学生使用のマスク、フェイスシールド、手指消毒剤は学生個々に大学から配布。また昼食時に使用できるランチョンマット用布ナフキンやマスクケース等も大学で作成し、配布している。体調管理および行動記録は4月前期授業開始時より記載を指導し、実習時にはさらにチェック事項を再考し、管理表を修正している。発熱および感染症状、類似した症状があるときには必ず担当教員への報告を徹底し、受診を促し、診断書をもって登学許可としている。
関西・近畿	発熱時3日間は登校禁止になるため特別措置として、1週間30時間の臨地での実習を行い、2週間で7日の臨地実習を行っている場合は、最低1日以上学内実習を行うことで、それを出席数に数えて実習の出席日数確保としている。今年のみ措置。
関西・近畿	<ul style="list-style-type: none"> ・『新型コロナウイルス感染予防に関する臨地実習の行動指針』を作成し、学生に周知した。 ・学生は、実習日前後2週間の健康観察表（様式1）および行動計画表（様式2）を作成し、確実に感染予防行動がとれるようにした。
関西・近畿	実習のための技術練習やオリエンテーションなどは、学生の三密を避けるように、教室配置の工夫や登校日の工夫などしている。予防接種や感染に関する知識や認識の強化は各教員が授業時にも繰り返し説明している。
関西・近畿	PCR検査については、その時点で陰性であっても、いつ陽性に転じるか不透明であり、実習前に、実習を目的として全員に検査を受けさせることは実施していません。そのため、実習2週間前と実習後2週間は学生の検温、体調管理など等の健康管理表を作成し、記録させ、実習時には毎日、健康管理票を実習指導教員が確認して、指導者に報告するようにしています。一方、37.5度以上の発熱や体調不良の場合は実習を休ませ、発熱が8度以上になり、倦怠感などがあればPCR検査を受けてもらい、陰性であることを確認しています。
中国・四国	本学では、原則、実習施設の受入れ条件に従い実習を実施しておりますが、大学としてもCOVID-19の感染防止及び臨地実習の安全な実施を目的に、1.実習開始前の感染防止対策の修得・実施 2.学生自身が行う健康管理 3.学生の履修の可否を判断する基準 4.実習施設で感染者が発生した場合の取り扱い 5.実習における欠席について を「日本赤十字広島看護大学 臨地実習方針」において定めております。なお、学内実習になっても、実習目的・目標の変更をせずに、学内実習によって、目標を達成できる内容としています。
中国・四国	実習科目を履修している学生は、自己管理も含めて可能な限り努力して取り組んでくれている。
九州・沖縄	<p>実習時に使用するテキストの利用方法</p> <p>COVID-19対応の保険に加入を推奨</p>
九州・沖縄	<p>学生に医療・看護を学ぶものとしての責任の自覚を徹底して指導している。</p> <p>隣接して大学病院があるために、日頃のメディカルエリアでの行動で感染拡大防止に務めるよう指導している。</p>
九州・沖縄	実習施設により、実習条件がそれぞれあって、衛生管理行動は各領域からしっかりとしたオリエンテーションと確認を行っている。学生はそれぞれの施設に対応することが求められ、混乱も予測されるので、教員は細部にわたって細かい注意をはかり、学生と同時に教員もストレスを抱えている。

調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習向けに、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

設置場所	その他（自由記述）
九州・沖縄	一部の臨地実習施設から感染対策への詳細な要望あり、要望のない施設にも統一した指導管理体制で実習に臨んでいる。
九州・沖縄	環境整備 換気設備の設置
九州・沖縄	2020年10月から11月にかけて、基礎看護学実習において98名の学生の臨地実習の受け入れを、PCR検査を実習病院で受けその結果が陰性の場合、実習受け入れを許可することとなった。その理由と経緯は、基礎看護学実習の計画を、1年次（2019年）3月に1週間（1単位）、2年次（2020年）8月から9月に2週間（2単位）計画していたが、両方の臨地実習が中止となった。2020年10月まで、一度も臨地実習の経験を経ないままの学生を、何とか臨地実習の経験をさせたい思いから、実習施設を変更して受け入れ可能な病院を探していたところ、前述した事（事前にPCR検査を受け全員陰性の確認後、実習受け入れ可）を前提条件に受け入れていただき、現在98名中65名の学生の臨地実習を終えた。
九州・沖縄	開設初年度の学部です。後期に入り一部の科目だけ対面授業が開始されたため、感染防止対策として日頃から行っている項目として該当はしますが、臨地実習に向けてとしては「学生指導なし」となります。

調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。



調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

設置場所	その他（自由記述）
関東	各病院で状況が異なるので、基本的には実習施設の要望に沿って調整している。学生を休ませるかどうかの基準は、大学が決め、教員と学生に周知している。
関東	・学生が実習施設（病棟）内に持ち込むことが可能な物品の確認（持ち込み物品の制限）
関東	担当教員による調整時間の超過、状況を加味しながらの調整による心的・物理的負担が増加している。また学生および保護者の外部実習に対する不安が増加し、その説明を実施している。教員が一丸になり対応することの重要性を学んでいる。
関東	付属病院の実習開始にあたり、実習施設側の感染予防認定看護師と協議しながら進めた。 他の施設での実習開始にあっても、施設側の感染対策方法を確認するとともに付属病院の方法を踏襲するので、教えて欲しいという要望もあった。どちらにしろ、十分に感染対策が行われている実施方法に準じて進めた。
関東	・臨地実習において、発熱があり濃厚感染が疑われる場合には、臨地実習を中止して遠隔に切り替えるなど、状況に応じて臨機応変に備えている。
関東	1日に受け入れて頂ける人数に制限があったため、学生の人数調整など、通常にはない負担が、学生や教員、指導者にある。
関東	・2020年6月～2021年1月迄実施する3年生の各論実習への影響が大きく、実際に対象者に接して心身社会面のアセスメントに基づく看護実践を体験できないことにより、看護職としての成長に大きく影響すると考え、最低ラインでも1週間は臨地実習を確保するように努めている。
関東	本学における実習施設は領域ごとに異なり多岐にわたる。複数領域で使用する実習施設については、実習委員会が学部全体として実習施設と調整・確認しているが、一つの領域が単独で使用する実習施設については、上記の項目の内の「実習委託費の変更」以外は、各実習科目責任者が実習施設と調整・確認している。
関東	実習施設の感染予防等により臨地で実習できない58名の学生に対して、実習予定で11病棟、2クール4週間の期間、実習施設の看護師に学校へ来ていただき、代替実習とし、実際の入院患者さんに許可をいただき、受け持ちを決めオリエンテーションを実施した。その後、看護過程展開し、助言をいただき、修正・評価をくり返した（カンファレンス2回実施。）実践はモデル及び教員に対して、実施・評価した。文科省のガイドラインどおりに実践した。
関東	マスクは午前・午後で交換とし、病院内で廃棄処理している。 臨地実習場所で使用するマスク（病院内のみ）と通学時のマスクは別ものを使用している。
関東	病院によるオンライン用オリエンテーションDVDの作成
関東	・上記は学部全体としての指導を記載した。実習施設の意向も踏まえ詳細は各実習科目（領域別）との話し合いで決定している。 ・PCR検査の実施は実習施設と調整中である。
関東	実習開始に際して、受け入れ施設のスタッフ・患者、学生、指導教員の安全確保、感染防止を考慮した大学としての実習実施の方針を提示し、看護部長、教育担当者と実施の可否について話し合った。 抗原検査の実施が実習実施の条件として、1施設から提示されたため、検査費用は、大学が負担することにした。 苦慮していることとしては、3蜜対策である。その一つとして、カンファレンスルームが十分なスペースの確保ができず、施設によっては、実習終了後、Webexによるカンファレンスに変更せざるを得なかった。 実習終了後、学生と教員とのやり取り、学生の質問に対する対応、学修内容の補足指導等は、クラウド型教育支援システムのmanabaを使って行うため、特に、遅い時間に提出された記録のコメントに教員は過大な負担がかかっている。
関東	「看護学実習におけるCOVID-19感染対策マニュアル」（学生用および教員用）を作成するにあたり、実習病院看護部の意見をいただき、その内容も含めた。このマニュアルは、学生、教員だけでなく、実習病院看護部、実習予定病棟の臨地実習指導者にも配付した。

調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

設置場所	その他（自由記述）
関東	一時、感染防護用具（手指消毒用ジェル、マスク、グローブなど）の流通が悪く、必要数が確保できない時期があった。 そのため、学部内で在庫を一元管理していた時期があった。（現在は、流通も回復し、各科目ごとに必要数を確保できている）
関東	大学より、臨地実習における授業方法について調査があった。臨地、学内、リモートのいずれかについて実施方法を科目責任が回答した。この回答に対して、大学より実施時の留意点などの条件を付して、実施の可否の回答があった。
関東	<ul style="list-style-type: none"> ・大学（学部）として「臨地実習は縮小して実施」との方針で、詳細は各科目担当者による実習調整としている。 ・複数科目の実習を依頼している施設とは、窓口担当者とともに大学と施設双方の方針を確認したうえで、学内でも連携を取りつつ科目別の詳細な打ち合わせを進め準備している。 ・PCR等検査に関しては、大学として実施する体制は整っていないが、一部の実習施設から受け入れの条件として実施が求められる場合があった。調整結果により、PCR検査実施を受け入れ条件とする施設では実習を行わないこととなった（検査実施以外に、地域の感染状況が考慮された）。
関東	感染防護用具の準備について、施設ごとに異なるので、今年度は学生が準備する教材費がかさむことになった。この教材費についての大学から私学のため臨時の補填はない。
関東	実習施設により感染防止対策に差があり、調整が難しいことがあった。たとえば、実習まじかになり急にface shieldを大学で準備してほしいとの要望がある反面、施設側でマスク以外のアルコール消毒薬、face shield、エプロンなどを準備下さる施設があるなど、実習指導に関する学生一人当たりの指導料は同額あるいは高いにもかかわらず、感染防止対策の準備をすべて大学に要求された。特に困ったことは、N95のマスクを準備するよう要望された施設には、現状なかなか手に入らない時期であったので本当に苦労した。しかし、実習できるチャンスがあるならばと高額な感染予防対策グッズを購入し、学生並びに指導教員へ供給できるよう整えたが、施設側への疑問が湧いた。要望してきた施設の看護師でさえN95のマスク使用をしている状況ではないこと、かつ学生の受入れ病棟が感染者受け入れではないにもかかわらず、学生だけ要望することの矛盾を感じた。なお、マスク不足の時期に東京都看護協会からマスク2000枚を寄付いただいたことは本当にありがたく、私立大学子協議会へご報告させていただきます。
中部	PCR検査の実施について： 実習施設側から推奨された場合がありますが、実施しないことで調整した。 事例）学生は発熱していなくても、同居している家族が発熱した場合、実習施設側から家族にPCR検査の実施を推奨された。この事例では家族にまでPCR検査はしてもらわない、ということで調整した。ただし、当該学生は実習の受け入れをお断りされた。
中部	実習委託費の変更は、現在のところございません。例年実習終了後の支払いになりますので、生じる可能性はあります。
中部	・基本的事項は大学の規程に基づき、学部の実習委員会で方針を決定しており、各領域の実施レベルでそれを順守している。
中部	PCR検査については、本人が感染した可能性があると考えられるときに実施している。また、実習施設からの要請により実施する。
中部	・大学が、これまでの感染予防策の方針に加え、COVID-19用に、新たに感染予防対策についての申し合わせを作成し、学生にも周知している。実習施設との、上記の項目に関する調整・確認は、この申し合わせをもとに、実習施設との会議において、本年8月以降にすべての施設との間で行っている。
中部	・施設と大学が隣接しているため、昼食は帰校している。そのため、感染予防の三蜜回避はできている。病棟では、カンファレンスルーム、学生控室が狭く、感染予防が難しいため、学生の人数を調整している領域がある。
関西・近畿	・実習施設によって、温度感が異なる。
関西・近畿	全ての調整においても、可能な限り病院に多数の教員で訪問することを避け、代表者が電話あるいはメールでやり取りする等の調整を実施している。

調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

設置場所	その他（自由記述）
関西・近畿	<p>実習委託費については、オンラインの指導、来学での指導も通常の臨地実習指導と同様に考慮する予定である。</p> <p>学生の体調不良は、臨地・登学をさせず、症状消失後再開する予定であるが、オンラインの利用、実習日の変更など不利益がなく質の低下がないように配慮している。</p> <p>助産学実習については、10例の正常分娩体験が困難なため平等に2例程度経験できるよう調整している。</p> <p>臨地実習施設の指示によるところの調整となっている。</p>
関西・近畿	<p>公衆衛生看護学実習、助産学実習については臨地での実習を基本とし、方法を変更しながら実施している。3年生の領域実習については実習施設との調整を行う中で、受け入れ中止や、直前まで判断できないといった施設、また受け入れに協力していただける施設においても院内にcovit-19病棟が設置され、院内でのゾーニング、コホーティングの準備が整っていない中で受け入れとなっている状況や、あわただしい状況の中で指導者の確保が十分にできないなどの事情があり、学生の安全、安心な実習環境の確保のために学内実習に切り替えた。施設側からも安堵の声がきかれた。学内実習では学生の体調管理に留意ながら感染防止策を徹底しており、オンラインを併用しているために、体調に疑義のある学生への個々の対応も可能になるなどのメリットもある。</p>
関西・近畿	<p>実習時期の大枠の変更はないが、細かい日程の変更はある。</p>
関西・近畿	<p>急性期実習ではICUにCOVID-19患者がいる場合の実習方法の変更がある。</p> <p>在宅看護学実習では、「受け入れ人数」「実習時間」「実習方法」の調整を行っている。</p> <p>老年看護学実習では、「受け入れ人数」「受け入れ日数」「実習方法」の調整を行っている。公衆衛生看護学実習では、「受け入れ日数」「実習方法」の調整を行っている。</p>
関西・近畿	<ul style="list-style-type: none"> ・実習開始前には、実習施設と感染予防についても打ち合わせを行った。 ・実習施設の『感染対策マニュアル』も参照し、確実に感染予防行動がとれるように考慮した。
関西・近畿	<p>2月の実習に向けて、各教員が実習病院でこれから注意する事項について「チェックリスト表」の作成をしている。病院と調整し、学生から感染を守ることと、学生が感染者にならないように注意することは遵守する。</p>
中国・四国	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅看護学実習は、R1年度実習終了時にR2年度の実習調整をおおよそ行っている。例年であれば4～5月に最終調整を行うが、コロナの影響があり5月に臨地実習について受け入れ困難の回答があった。7月に実習中止とした。 ・老年看護学実習は、10月14日現時点では、実習施設側からの実習受け入れ中止により臨地実習ができない状況にあり、11月末まではすべて学内実習となっている（1～2か月ごとに実習先から実習の受入可否の連絡がある）。そのため上記項目については大学側が調整したいと病院側に伝えている段階でありその後病院側と細かい調整には至っていない。 ・実習費用（単価）については、現在のところ変動はないが、学内実習に変更になっている分、執行額としては減っている。
中国・四国	<p>実習施設は最大限の配慮をしていただきながら検討できている点ありがたい。</p>
九州・沖縄	<p>同大学の大学病院では、他大学の実習受け入れはしていないが、本学の医学部と薬学部の実習は受け入れてくれているので、大学病院側から対応を要望されることはなく、看護学科が自発的に対応を計画し、大学病院と調整している。しかし、外部の施設の場合は、先方の要望に対応せざるを得ない状況である。</p>
九州・沖縄	<p>本学は付属の病院を持たないため、PCRの検査などは全員にすることはできない。体調の崩れた人にPCR検査をしてもらいたいと考えても、保健所の指示が得られなければなかなか検査してもらえな状況であった。現在は検査をする病院も増えたが、費用が個人負担であるため、簡単に指示することも難しい。</p> <p>実習委託費に関しては短い時間での実習でも一人の費用を支払っている。もちろん実習施設に行かない日は支払いはない。</p> <p>実習施設により実習できない学生や、人数制限などで学生の臨地実習経験の差ができることがあり、課題である。</p>
九州・沖縄	<p>PCR検査・フェイスシールドの着用の義務を一部の施設ではあるが要請された。</p>
九州・沖縄	<p>実習施設によって違いはあるが、実習前後2週間の学生行動の記録。</p> <p>受け持ち患者以外の接触記録、臨地実習中のおよその行動記録も、看護管理者と協議の上で調整している。</p>

調査A <日本私立看護系大学協会>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

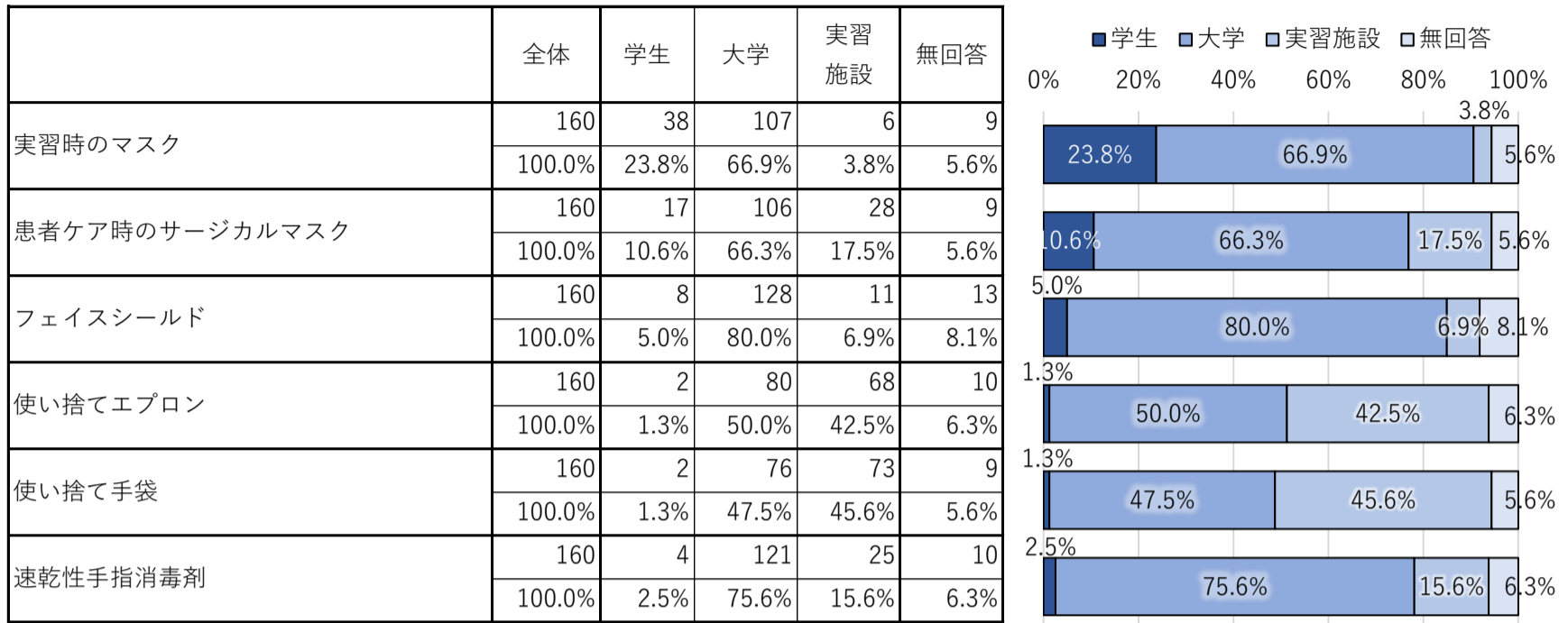
設置場所	その他（自由記述）
九州・沖縄	<p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策としては、全学的な対策マニュアルにそい、看護学部独自のマニュアルおよびPCR検査結果対応マニュアルを作成して、教員間の正確な情報共有と適切で迅速な対応ができるようにした。それらのマニュアルの基準となっているものは文科省と厚労省の通達に沿っており、JANPU の連絡および研修会から専門的な知識の動向を得てマニュアルの変更・修正を行ってきた。それらをもとに、学生指導を抗議の受け方、演習等のグループワーク、看護学実習室の使い方、臨地実習オリエンテーション（学内・学外）等、折に触れ多様な機会を通して全教員が行い、感染症対策の学修を名実ともに指導し経験させている。</p>
九州・沖縄	<p>本年開設したばかりの学部なので、該当する実習が基礎看護学Ⅰと高齢者看護学実習Ⅰしかありません。実際には未実施、延期している状況です。従いまして「調整なし」となります。</p>

調査A <日本私立看護系大学協会>

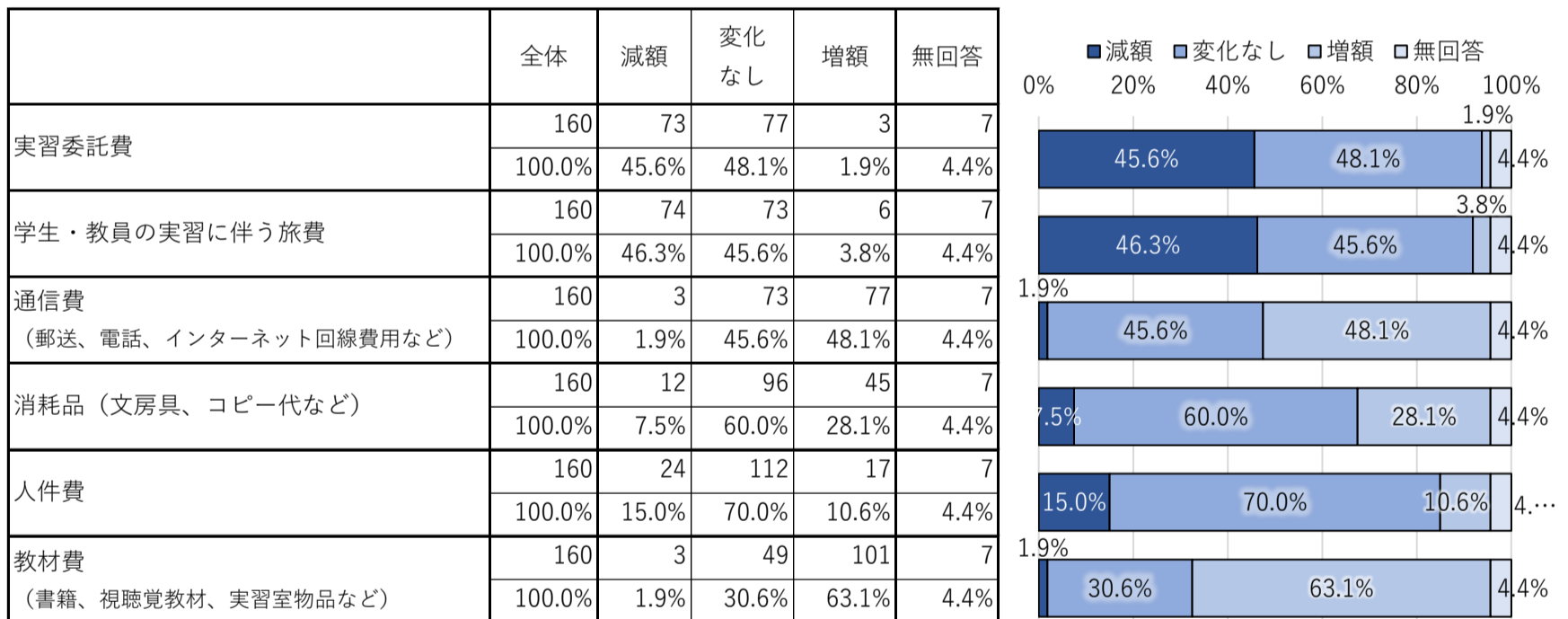
II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

3. COVID-19 流行による看護学実習経費への影響についてお答えください。

1) 学生が実習で使用する主な感染防護用具の購入者について、プルダウンリストから選択してください。



2) 実習に関連する経常経費予算の執行額の変化について、プルダウンリストから選択してください。

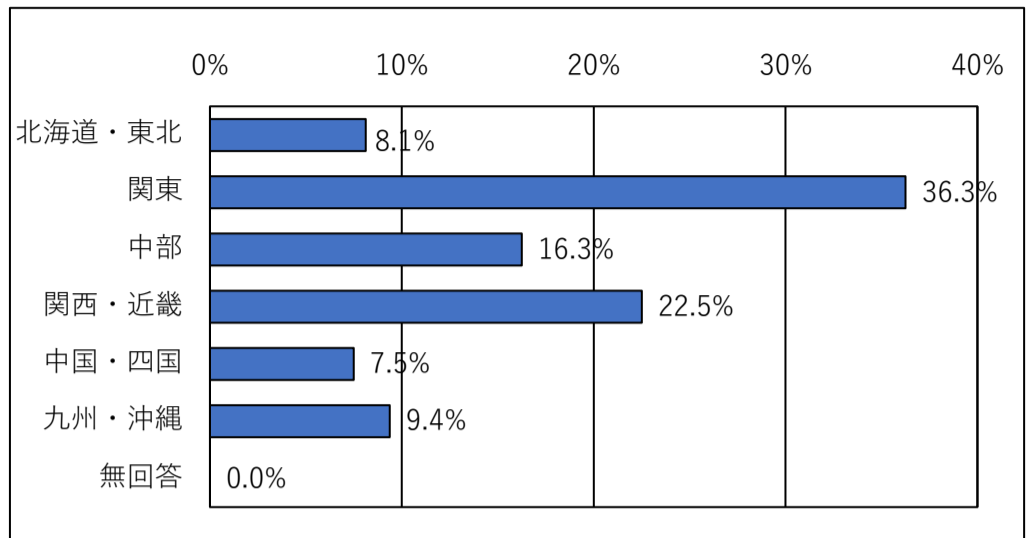


調査A <日本私立看護系大学協会>

回答学校属性別集計

設置ブロック

No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道・東北	13	8.1%
2	関東	58	36.3%
3	中部	26	16.3%
4	関西・近畿	36	22.5%
5	中国・四国	12	7.5%
6	九州・沖縄	15	9.4%
	無回答	0	0.0%
	全体	160	100.0%



ヒアリングの可否

No.	カテゴリー名	n	%
1	ヒアリング協力可能	97	60.6%
2	ヒアリング協力不可	59	36.9%
	無回答	4	2.5%
	全体	160	100.0%

